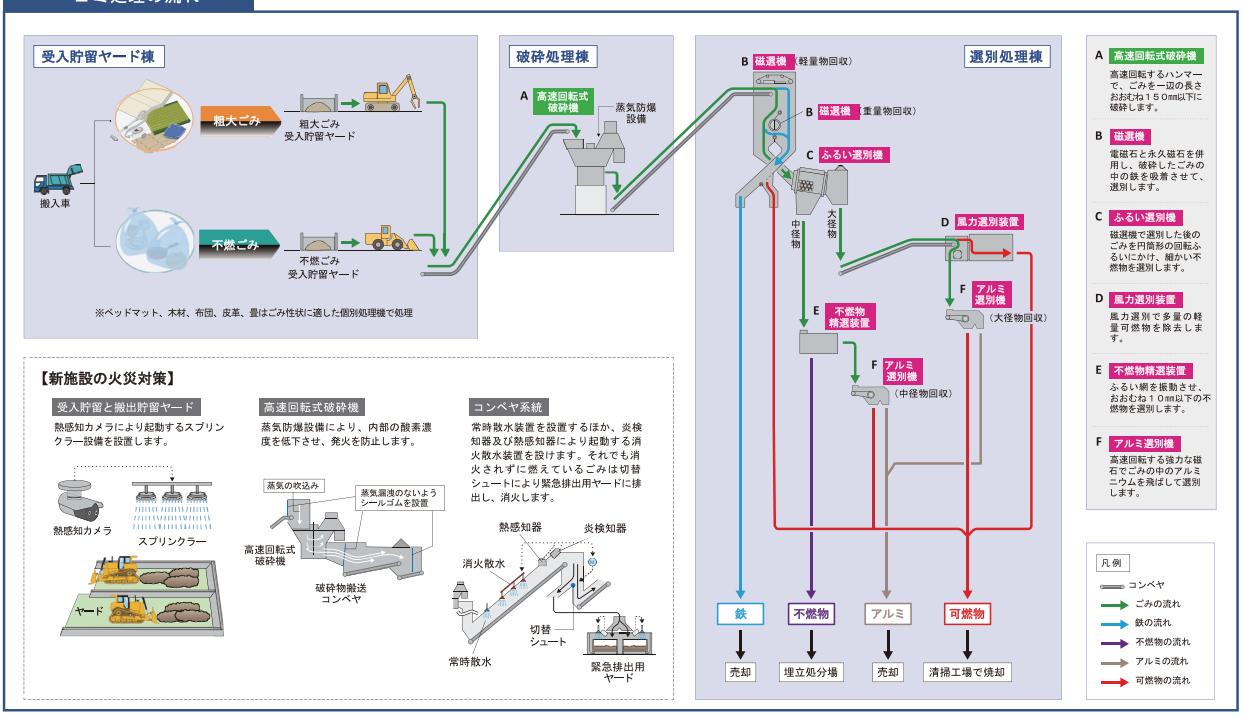
中防不燃・粗大ごみ処理施設のしくみ

ゴミ処理の流れ



特徴

- 効率的で安定した処理：独立した２系統とすることで、どちらか１系統が停止した場合でももう１系統で処理ができます。不燃ごみと粗大ごみの処理時間帯を分け、処理する機器を共通化し設置する機器の数を削減します。
- 最終処分量の削減　：鉄やアルミなどの資源をできる限り可能な範囲で回収することで、最終処分量を削減します。
- 環境保全の配慮　　：作業エリアを全て屋内とすることで、騒音や振動の低減、臭気対策など環境保全に配慮します。

5. 工事中の環境保全対策

■安全対策

- 工事用車両の出入口には交通誘導員を適切に配置し、通行人の安全を確保します。
- 工事用車両の運行は交通法令を遵守し、交通安全に努めます。
- 工事用車両は、工事範囲外での路上待機を禁止します。
- 工事範囲には仮囲いを設置し、工事の安全確保に努めます。

■騒音・振動対策

- 可能な限り低騒音・低振動型の建設機械を採用し、騒音、振動の発生抑制に努めます。
- 騒音・振動計を設置し、測定値をモニターでリアルタイムで監視及び表示します。

騒音・振動モニター

■粉じん対策

- 適時散水等必要な措置を講じ、粉じんの飛散防止に努めます。
- 工事用車両は、工事範囲内で車輪・車体に付着した土砂を洗車により十分除去した後に退出を行います。

■電波障害対策

建設機械等により、テレビの受信障害が万が一発生した場合は、速やかに対策を行います。

■排出ガス対策

- 可能な限り排出ガス対策型建設機械を採用します。
- 工事に使用するディーゼル自動車は、粒子状物質規制に対応した車両を使用します。
- 場内待機中の建設機械や工事用車両は、アイドリングストップを徹底します。

■排水対策

工事中の排水は、仮設処理設備を設置し、関連法令等を遵守し適切に処理します。

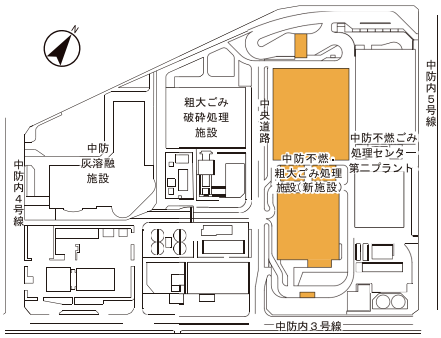
■地盤対策

- 掘削区域の周囲に山留め壁を構築し、周辺環境への影響を防止します。
- 山留め壁は、一定期間毎に計測し、地盤の変動を監視します。
- 定期的に敷地周辺の地盤レベル調査等を行います。

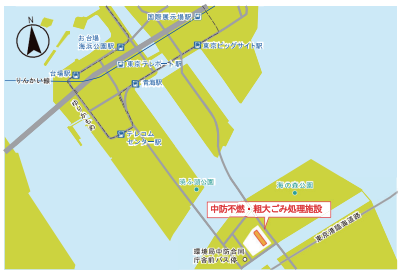
■建設廃棄物の発生抑制

- 資材搬入の際には、簡易梱包等により、養生材の廃棄物の発生抑制に努めます。
- 工事中は、３R（Reduce、Reuse、Recycle）に積極的に取り組みます。

6. 配置計画図



7. 案内図



アクセス　臨海新交通ゆりかもめ「テレコムセンター駅」下車
東京臨海高速鉄道「東京テレポート駅」下車
都営バス　（波01）「中央防波堤」行「環境局中防合同庁舎前」下車徒歩３分

お問合せ先　東京二十三区清掃一部事務組合　建設部建設課
中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事　監督員事務所
東京都江東区海の森二丁目４番79号
TEL：03-5579-6897　FAX：03-5579-6898